

むくのきだより



5月号

平成28年5月2日

港区立赤羽幼稚園長 小鹿原 賢

子どもの成長

園長 小鹿原 賢

入園・進級の4月が終わり、新緑の5月となりました。

子どもの成長は早いものです。子どもたちは幼稚園の生活に慣れ始め、友達との関係も笑顔をつくり、仲良く遊ぶ姿が見られるようになりました。教育の力は大きいなと感じます。

「人の一生において、乳幼児期は、心情、意欲、態度、基本的な生活習慣など、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期です。乳幼児期の子どもは生活や遊びにおける直接的・具体的な体験を通して情緒的・知的な発達や社会性を涵養し、人間として、社会の一員としてよりよく生きるための基礎を獲得していきます。」(就学前カリキュラム：東京都教育委員会)と、乳幼児期の教育の重要性を述べています。

赤羽幼稚園では、基本的な生活習慣や生活体験・自然体験、豊かな遊びを通して、上記のような力を身に付けさせたいと考えております。今年度も行う剣道教室の目的も、人格の形成に必要な礼儀作法や姿勢を身に付けさせるところにあります。

「あいさつ・返事・ありがとう・しっかり聞いて・ていねいにする」の生活のめあてをご家庭でも習慣化されるように、保護者の皆様にはご協力をお願いいたします。

主事さんが揚げてくれたこいのぼりが気持ちよく、風に乗って泳いでいます。玄関のあいさつのときに、花びらを手にする子どもがいました。自然の変化を子どもが運んで来ています。

「グループで作ったこいのぼり」 5歳児



「園庭で風に泳ぐこいのぼり」



「自分で作ったこいのぼり」

4歳児

